

環境経営レポート

(運用期間：2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日)

第04号



小島歯車工業株式会社

作成日：2024年 9月 27日

目 次

1 組織概要	P-1
2 環境経営方針	P-2
3 実施体制	P-3
4 環境経営目標	P-4
5 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P-5
6 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	P-6
7 環境経営計画の取組結果と評価、及び次年度の環境経営計画	P-7
8 当社の取組	P-8
9 地域との融合活動	P-9
10 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	P-10
11 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-11

1. 組織概要

1. 事業者名 小島歯車工業株式会社
2. 代表者氏名 松村 隆世（代表取締役社長）
3. 所在地 本社：静岡県静岡市駿河区国吉田 2－6－8 3
4. 事業活動 歯車の製造
5. 従業員数 17 名
6. 環境管理責任者 松村 隆世（代表取締役社長）
連絡担当者 奥山 成弘
7. 連絡先 TEL：(054)261-3732
FAX：(054)263-8507
(E-mail：kojima-gear@tokai.or.jp)
8. 事業規模 売上高：1億6833万円
9. 事業年度 4月1日～翌年3月31日
0. レポートの運用期間及び発行日
環境経営レポート運用期間（2023年 4月 1日～2024年 3月 31日）
環境経営レポート発行日（2023年 9月 16日）
1. 認証・登録の対象範囲
活動：歯車の製造
対象組織：本社工場 静岡県静岡市駿河区国吉田 2－6－8 3
第2工場 静岡県静岡市清水区長崎字五反田 2 2 8－3

2. 環境経営方針

【環境理念】

私たち小島歯車工業(株)は、歯車製造を中心としたものづくりを通してお客様と社会に貢献し続けていきます。
また、全ての企業活動に於いて地球環境問題に積極的に取り組み地域の環境活動にも積極的に参加していきます。

【基本方針】

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量等の削減に努めます。
 - 1-1. 電気、ガソリン、軽油などの使用量削減に努めます。
 - 1-2. ゴミ、廃棄物の削減に努めます。
 - 1-3. 節水活動による、水使用量の削減に努めます。
 - 1-4. 化学物質の適正使用に努めます。
2. 環境関連法規などの遵守

環境関連法規などを遵守します。
その他の環境関連の要求などを遵守します。
3. 環境経営の継続的改善

環境に配慮した製造活動を中心に、社員全体の意識向上を図り、
環境経営の継続的改善を行います。
4. 環境コミュニケーションの実施
 - 4-1. 社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず、
地域社会とより良いコミュニケーションを図っていきます。
 - 4-2. 社内におきましては、全従業員に環境経営方針を周知し、
全社員参加による取り組みを目指します。
5. チャンスと課題
 - 5-1. エコアクション21のエコ活動に向けた共通目標ができることによる全社員の意識と組織力の向上。
 - 5-2. 環境負荷低減に取り組む企業として認知される事による取引機会の拡大。
 - 5-3. エネルギーコスト削減による収益構造の強化。
 - 5-4. 長期的に継続していくために必要な全社員での意識の共有と組織運営。
 - 5-5. 日常の業務と両立させた継続的かつ有効な活動と組織運営。

制定年月日 2019年 8月 1日

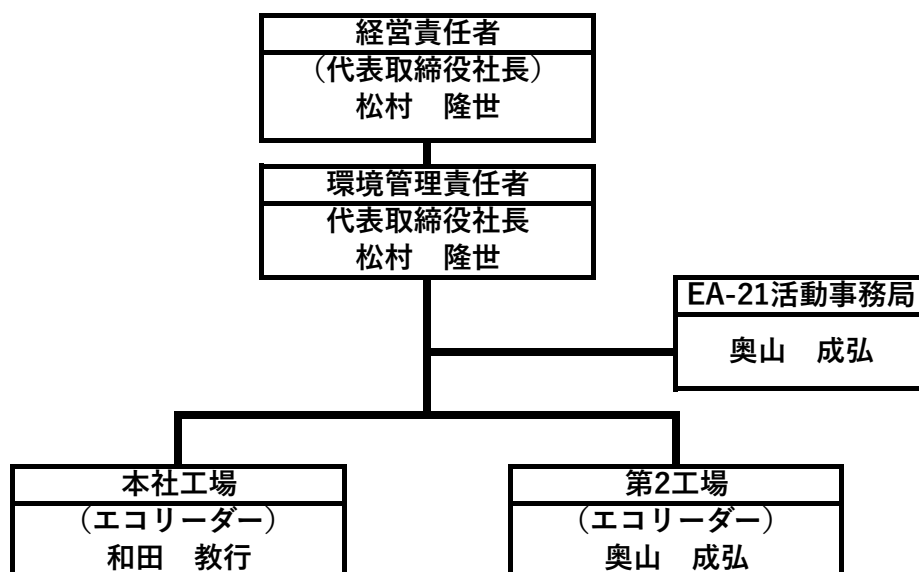
改定年月日 2020年 6月 1日

小島歯車工業株式会社

代表取締役社長 松村 隆世 P-2

3. 実施体制

作成日： 2021年7月18日
作成者： 奥山 成弘
対象範囲： 本社工場、第2工場



< 関係者の権限と役割 >

代表者（社長）

1. 環境経営全般に関する統括責任
2. 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間など経営資源を準備
3. 環境経営方針の策定、見直し
4. 環境経営目標・環境経営計画書を承認
5. 代表者による全体の評価と見直し
6. 環境経営レポートの承認
7. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする

環境管理責任者（代表者兼務）

1. 環境経営システム全般の運用・管理
2. 環境関連法規等の取りまとめ表を承認
3. 環境経営目標及び環境経営計画の作成
4. 取組状況の把握
5. 環境経営レポートの作成

EA21活動事務局

1. 環境負荷データ等の集計
2. 環境経営目標・環境経営計画の進行管理
3. 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
4. 環境管理責任者への取り組み状況の報告
5. 環境関連法規などの一覧表の作成、及び遵守状況のチェック
6. 文書類の作成と管理

エコリーダー

1. 部門の環境経営計画の実施
2. 部門データの集計
3. 部門の問題点把握と是正対策の実施
4. 部門取組状況の事務局への報告
5. 部門の従業員の教育

その他の従業員

1. 自分の役割を守り、エコアクション21活動を推進する

4. 環境経営目標

1. 運用期間（ 2023年 4月1日～ 2024年 3月31日）

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2018年4月 ～ 2019年 3月	2023年4月1日 ～ 2024年 3月31日	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	173,954	-5%	165256
内訳	電力	kWh	297,236	-5%	282374
	ガソリン	L	6,998	-5%	6648
	灯油	L	4,948	-5%	4701
	軽油	L	826	-5%	785
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	9,365	-5%	8897
	一般廃棄物	kg	512.6	-5%	487
水使用量		m ³	235	-3%	230
化学物質使用量		kg	—		現状把握
環境に配慮した製品作り					

<備考>

1.購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2022年)調整後排出係数の「0.459kg-CO₂/kWh」を使用

2. 中長期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			2018年4月 ～ 2019年3月	2024年4月 ～ 2025年3月	2025年4月 ～ 2026年3月	2026年4月 ～ 2027年3月	2027年4月 ～ 2028年3月	
			2018年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	173,954	-5%	-5%	-5%	-5%	
内訳	電力	kWh	297,236	-5%	-5%	-5%	-5%	
	ガソリン	L	6,998	-5%	-5%	-5%	-5%	
	軽油	L	826	-5%	-5%	-5%	-5%	
	灯油	L	4,948	-5%	-5%	-5%	-5%	
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	9,365	-5%	-5%	-5%	-5%	
	一般廃棄物	kg	—	-5%	-5%	-5%	-5%	
水使用量		m ³	235	-5%	-5%	-5%	-5%	
化学物質使用量		—	—	適正な管理・使用				

<備考>

1.購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2022年度)調整後排出係数の「0.459kg-CO₂/kWh」を使用

5. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

(運用期間： 2023年 4月～ 2024年 3月)

環境活動項目			責任者	スケジュール					
				4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
二酸化炭素の削減	エコドライブ	1. 不要なアイドリングの禁止	大倉角澤						
		2. 不要な荷物を積まない（週1回チェックする）							
		3. 急発進・急加速の禁止							
		4. 車内のエアコンの適温化							
	運転管理等	1. 運転日報の記載（走行キロ数、エコ運転の確認）	大倉角澤						
		2. 燃費確認（給油時）							
		3. 自動車購入時は省エネ車に切替							
	空調等	1. エアコンの設定温度を夏季 28℃、冬季 20℃に設定	和田谷						
		2. タイマー外での温度計確認後、エアコンオフ							
		3. 作業者が休みの箇所のエアコンオフ(第2工場)							
		4. 空調フィルターの定期清掃（年2回）							
		5. エアコン、室外機の3ヶ月毎の目視点検							
	工場・事務所	1. デマンドコントロールのこまめな確認	吉田石垣						
		2. コンプレッサーのエア漏れチェック							
		3. 未使用機器の電源オフ							
		4. 不良品の削減（不良率 5%）							
水使用量の削減		1. 水使用時の節水	日数谷二村						
		2. 水漏れ点検の実施							
		3. 節水意識を高める手洗い用掲示物の作成							
		4. 蛇口のシャワー化。ホースノズルもトリガー付へ変更							
		5. 節水ハンドルの取り付け							
廃棄物の削減		1. コピー用紙の両面使用	宇佐美奥山長谷川						
		2. 一般廃棄物の削減の推進							
		3. 廃棄物の分別の徹底							
		4. 廃油の削減							
		5. 各作業場所にビニールゴミの缶を設置する							
		6. 廃棄物の分別例の掲示							
リサイクルの推進		1. ペットボトルの削減（水筒持参の励行）	中山小嶋池田						
		2. エコキャップ運動への参加							
		3. 使用済みビニール袋やダンボールの再利用							
		4. シュレッダーで出た紙ゴミを緩衝材として再利用							
		5. 緩衝材のリサイクル推進							

6. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

1. 運用期間（ 2023年 4月～ 2024年 3月）の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2018年4月 ～ 2019年03月	2023年 04月 ～ 2024年 03月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	173,954	-5%	165,256	-13%	151,002	○
内訳	電力	kWh	297,236	-5%	282,374	-4%	283901	×
	ガソリン	L	6,998	-5%	6,648	-38%	4,328	○
	軽油	L	826	-5%	785	14%	944	×
	灯油	L	4,948	-5%	4,701	-33%	3,299	○
廃棄物排出量	産業廃棄物	kg	9,365	-5%	8,897	-69%	2910	○
	一般廃棄物	kg	512.6	-5%	487	13%	580	×
水使用量	水	m ³	235	-3%	223	-12%	207	○
化学物質使用量		kg		—		%		

87%

96%

62%

114%

67%

31%

113%

88%

<評価>

達成できなかった項目・達成できた部分・反省点

電気	原因	従業員の増加と新しい機械を導入したのが大きな原因。
	是正	新しく入った従業員に啓蒙を行う。 汎用機からNC機に変更したり、機械を追加した分は改善しようがない。
ガソリン 軽油 灯油	原因	1月より、ハイエースがガソリン車からディーゼル車へと変更になった。
	是正	来年度の実績を基準とし直す。
水使用量	原因	節水の意識は出来ている。
	今後の向上	新しく入った従業員に啓蒙を行い、意識の向上を図る。
廃棄物	原因	一般廃棄物（可燃ゴミ）が年々増加している。 プラスチック廃棄物についても、削減自体は出来ているが、リサイクル率の確認と向上が必要。 現在のリサイクル率は10%程度だそうです。
	是正 今後の向上	社内会議にて一般ゴミの削減（ペーパータオルの廃止等）を周知。 プラゴミに関しては専用のゴミ箱を購入し、PP・PE・PS・不明（硬質・軟質）に分け、 再資源化率の向上を図る。

2. 次年度の環境経営目標

現在サプライチェーンにおいて脱炭素、カーボンニュートラルへ対応した経営を求められていて、要求項目も今後は増えていくことが予想されます。客先とも仕組みや情報を共有し、より進んだ環境経営を構築できるよう全社で活動していきたいと思います。次年度は設備のNC化やDX推進のためのデジタルインフラ整備により、電力使用量増加が懸念されますが、対価として項制度化、高効率化を目指していきたい。

7. 環境経営計画の取組結果と評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間： 2023年 4月～ 2024年 3月)

環境活動項目			責任者	評価	コメント	今後の 取組内容
二酸化炭素 の削減	エコドライブ	1. 不要なアイドリングの禁止	大倉 角澤	○	1月にハイエースがガソリン車からディーゼル車に変更。燃費の向上に期待。	余裕をもった予定組みで燃費運転を心掛けたい。
		2. 不要な荷物を積まない（週1回チェックする）		○		
		3. 急発進・急加速の禁止		△		
		4. 車内のエアコンの適温化		△		
	運転管理等	1. 運転日報の記載（走行キロ数、エコ運転の確認）	大倉 角澤	○	車の性能が上がっている為、燃費に関しては良くなっている。	来年度より、ガソリン、軽油の基準を組み直す為、更なる運転技術の向上を心掛ける。
		2. 燃費確認（給油時）		○		
		3. 自動車購入時は省エネ車に切替		○		
	空調等	1. エアコンの設定温度を夏季 28℃、冬季 20℃に設定	和田 谷	○	使用方法是徹底されており、今後も継続していきたい。 工場内の気温によって、温度のコントロールをする様になった。	このまま継続して管理を行う。
		2. タイマー外での温度計確認後、エアコンオフ		○		
		3. 作業者が休みの箇所のエアコンオフ(第2工場)		○		
		4. 空調フィルターの定期清掃（年2回）		○		
		5. エアコン、室外機の3ヶ月毎の目視点検		○		
	工場・事務所	1. デマンドコントロールのこまめな確認	吉田 石垣	○	管理、確認は出来てきている。 機械の入れ替えなどで電気使用量が上がってしまう為、他の事で努力していく。	デマンドコントロールの管理と、新しく入った社員への節電の啓蒙活動を行う。
		2. コンプレッサのエア漏れチェック		○		
		3. 未使用機器の電源オフ		○		
		4. 不良品の削減（不良率 5％）		○		
水使用量の削減		1. 水使用時の節水	平井 二村	○	問題なく運用できている。	節水の徹底。 シャワー蛇口などが劣化してくるので点検を行っていく。
		2. 水漏れ点検の実施		○		
		3. 節水意識を高める手洗い用掲示物の作成		○		
		4. 蛇口のシャワー化。ホースノズルもトリガー付へ変更		○		
		5. 節水ハンドルの取り付け		○		
廃棄物の削減		1. コピー用紙の両面使用	宇佐美 奥山 長谷川	○	本社の一般廃棄物の量が多い。	一般廃棄物削減の啓蒙。
		2. 一般廃棄物の削減の推進		×		
		3. 廃棄物の分別の徹底		○		
		4. 廃油の削減		○		
		5. 各作業場所にビニールゴミの缶を設置する		○		
		6. 廃棄物の分別例の掲示		○		
リサイクルの推進		1. ペットボトルの削減 （水筒持参の励行・リサイクルステーションの活用）	中山 小嶋 池田	○	プラ廃棄物の細分化が出来ておらず、再資源化率が低い。	プラ廃棄物の分別箱の購入。
		2. エコキャップ運動への参加		○		
		3. 使用済みビニール袋やダンボールの再利用		○		
		4. シュレッダーで出た紙ゴミを緩衝材として再利用		○		
		5. 緩衝材のリサイクル推進		○		

<備考>

評価判定：○良く出来た △まあまあ出来た ×出来なかった -実施が見送られた

8. 当社の取組

7/24 エコキャップ運動への参加

667個のリサイクル（累計2559個）

エコキャップ 受領書

小島歯車工業株式会社 御中

ID : 94959

分類 : 会社

ご住所 : 静岡県静岡市駿河区国吉田2-6-83

FAX番号 : **054-263-8507**

2024/07/26



NPO法人
エコキャップ推進協会

〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町162-1
横浜飛栄ビル402
TEL : 045-900-0294
FAX : 045-900-0295
<http://ecocap.or.jp>

今回受領個数 : **667 個**

累計個数 (2024/07/26時点) : **2,559 個**

受取日	数量	個数(約)	備考
2024/07/26	1.55kg	667個	

ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO2発生量
⇒ **18.74kg**

※キャップ1kgで約3,150gのCO2が発生します

9. 地域との融合活動



5月10日 第2工場裏の用水路の掃除と
工場前道路の掃除

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

評価日 2024年 3月 31日
評価者 環境管理責任者 松村 隆世

法律・条例		条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果	
義務	法令	騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
			第6条	特定施設の届出	コンプレッサー:1台ずつ(15kw)7.5kw以上 エアコン:本社工場1台、第2工場6台	○
			第8条	特定施設の数等の変更の届出		○
		振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
			第6条	特定施設の届出	コンプレッサー:1台ずつ(15kw)7.5kw以上	○
			第8条	特定施設の数等の変更の届出		○
		浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃に実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
			第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	○
			第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
		廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
			第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
			第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
			第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○
			第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
			第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
			第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
			第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
			第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのD/E票の期間内返却	○
		消防法	第17条の3	消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○
		家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のサイクル料金の支払	運用期間中の該当なし
		自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		運用期間中の該当なし
			第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	
		フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 電動機定格出力に応じた資格者による「定期点検」 ②空調機(50kW以上)1年に1回以上 ③空調機(7.5kW~50kW未満)3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器(7.5kW以上)1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認 ②、③、④ 有資格者による定期点検実施	○
			第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務 簡易点検の実施(3ヶ月に1度)	運用期間中の該当なし
	静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務		○
			第53条	騒音特定施設の届出		○
			第55条	騒音特定施設変更の届出		○
			第79条	振動基準の遵守義務		○
			第80条	振動特定施設の届出		○
			第82条	振動特定施設変更の届出		○
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置	第1工場:松村 第2工場:奥山	○	
		第10条	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○	
責務・努力	法令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
		リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○
		グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)	第5条	事業者の責務(国等の施策への協力等)	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○

1 1. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 見直し 関連情報	項目		確認
	1	エコアクション21文書	☒
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒
	3	環境経営計画及び取り組み実績状況	☒
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒
	7	取引先・業界・関係行政機関・その他外部動向	☒
	8	その他（ ）	☒

2. 代表者による 全体評価・ 見直し指示	数値目標を達成できた項目については意識の変革や活動目標に対する結果が出たものとして評価したいと思います。 未達成の項目については原因分析を行い次年度からの対策と活動内容に反映させて削減率達成に繋げていけるよう進めていきたいと思っています。現状分析により設備の増設、更新、人員増などの要因による使用量の増加が考えられる場合は設定数値目標の見直しも検討し、時期の行動計画を策定していきたいと思っています。		
	2024年 3月 31日 代表取締役社 松村 隆世		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 ☒ 無	
	2 環境経営目標	☒ 有 無	社用車のガソリン、軽油使用量の基準を見直し
	3 環境経営計画	有 ☒ 無	
	4 実施体制	有 ☒ 無	
	5 その他のシステム要素	有 ☒ 無	
	6 その他（外部への対応）	有 ☒ 無	